



天 界 新 知 識

珍しい多蝕の年

今1935年は月食が二つ、日食が五つといふ驚ばつた蝕の多い年であつて、之れは一ヶ年間に蝕の多いレコードである。言ひ換へれば、一ヶ年間に日食や月食が七回以上は絶対に起り得ない其の最大限度の年である。

まづ、こうした珍しい年が何年毎にやつて来るといふと、今年のやうに月食が2回と月食が5回といふ年は

西暦紀元前1154年、前1089、前568、前503、前438、前373、紀元18年、83年、
(間隔65年) (521) (65) (65) (391) (65) (65)
148、604、669、734、1255、1805、1935、2485、……
(456) (65) (65) (521) (550) (130) (550)

又、一年内に月食が3回と日食が4回といふのは

紀元前1172年、前1107、前1042、前930、前865、前586、前521、前456、
(間隔65年) (65) (112) (65) (279) (65) (65) (47)
前409、前344、紀元65、112、177、242、372、586、698、763、828、
(65) (407) (47) (65) (65) (130) (214) (112) (65) (65) (65)
893、958、1219、1289、1349、1414、1479、1591、1656、1787、1917、
(65) (261) (65) (65) (65) (112) (65) (131) (130) (65)
1982、2094、2159、……
(112) (65)

此等全體を通じて、こうした珍しい多蝕の年が起る週期は65年か、又は其の倍数であつて、特に今年と同様なことがあつたのは、130年前の1805年であり、將來は2485年まで、實に550年間一回もないことである。〔ASP. 274, 346〕

リク天文臺に一新望遠鏡

米國ニューヨーク市の Carnegie 協會は今回リク天文臺へ65000弗の寄附金を提供したので同天文臺では廣角寫眞望遠鏡を新たに据え付けることになった。之れは天の赤道附近に於いては 6° 平方の天空撮影される計畫で、2時間の曝寫により19等級までの星を撮り得るものゝ由、完成は明1936年末の豫定。〔ASP. 274〕

新城博士の新任

京都帝國大學理學部宇宙物理學教室の創設者であり、又同大學であつた新城新博士は今回横手博士の後を繼いで上海の自然科學研究所長に任ぜられたので、63歳の老軀を携げ、夫人同伴、去2月23日神戸出帆の照國丸で赴任された。

早乙女東京天文臺長

去2月9日學術研究會議天文學部本邦委員會で早乙女博士は來七月バりに開かれる國際天文同盟總會に出席代表者に推薦せられた。